

船幸祭

船幸祭は大津三大祭の一つで、毎年 8 月 17 日に開催されます。この祭りは、伝説の武将・ヤマトタケルを祀る建部大社から始まりますが、主な会場は瀬田川です。

まず、建部大社の華麗な神輿を祭船に運び入れます。船は瀬田川を下って瀬田の唐橋をくぐり抜け、南郷地区に向かいます。この祭りは、ヤマトタケル伝説の一部を再現したもので、王子が強敵を倒すために海を渡らなければならなかった時のことを思い起こさせてくれます。

瀬田川には龍神が住んでいるとされていることから、各船の舳先には金色の龍の頭が飾られています。建部大社には大きな神輿が 2 基あり、古い方は江戸時代（1603～1867 年）に作られたものです。祭りで使用される神輿のうち 1 基は、100 人がかりで船まで運ばなければならないほど重い一方で、子供たちは小さくて軽い神輿を担ぎます。

神輿にはヤマトタケルの霊が宿っていると言われていたため、大切に扱わなければなりません。船幸祭の期間中は、瀬田の唐橋が通行止めになります。これは、神輿が橋の下を通るときに、神輿の上に人がいてヤマトタケルへの侮辱にならないようにするためです。夕方になり、南郷での神事が終わると、船は瀬田の唐橋の東端の北側の河原である瀬田浜に戻り、大神輿の動きに合わせた花火が辺りを照らします。